

画については、幾寅警察官駐在所の建替用地として貸付しており、現在、明年1月上旬の完成を目指して建設工事が進められ、2月上旬には駐在所を移転する予定であるとの連絡を関係機関より受けておりますので、併せてご報告申し上げます。（幾寅駐在所については、工事が順調に進み、平成19年12月29日に移転され、業務が開始されています。）

民間賃貸共同住宅建設促進事業及び持家住宅促進助成事業の実施状況について

民間賃貸共同住宅及び持家住宅の建設費に対する助成事業は、本町の優良な賃貸住宅の整備促進と定住者の拡大を図るため、時限の条例措置により取り組んでいるところであり、

本年度の実施状況は、金山地区に建設中の特別養護老人ホームに勤務する職員向けの共同住宅として、金山に1LDK8戸が1棟及び下金山に同規模2棟の民間賃貸共同住宅建設費に対する助成金2件の申請があり、計3棟に対し計1,440万円の助成を決定しているところであり、

厳寒期を迎えまして、暖房用燃料の灯油需要が増す時期であり、皆様もご存知のとおり、様々な経済事情により灯油価格が高騰し、住民皆様の日常生活への影響はもとより、各種事業経営者にとりましても大変大きな経済的負担となりつつある状況を迎えていることから、国に対しては、早期に抜本的な対策を講じられるよう強く望むところであり、

このような状況を受けまして、町では「福祉灯油」として緊急支援対策を実施要綱により対象者を限定させていただく中で、現在の灯油価格の高騰による経済的負担が、著しく生活を圧迫する低所得者の高齢者世帯や障がい者世帯、母子世帯に対し、灯油購入費の一部助成を実施する必要があると判断いたしまして、関係予算を今定例会に提案させていただきます。経済的緊急支援対策を実施してまいりたいと考えております。

尚、本町の経済的緊急支援対策は、道が行う生活支援事業による補助金の対象事業として認められるものであります。

本年度の持家住宅の建設費に対する助成は、現在のところ新築住宅3件、増築1件の計4件の申請を受理しており、いずれも条例規則等に適合していることから助成対象と認められるところであり、この内新築1件分と増築1件分の助成については、追加の予算措置が必要であることから、今定例会に係る予算を提案させていただき、速やかに助成の措置を講じてまいりたいと考えております。

高齢者生活福祉センター「くるみ園」及びデイサービスセンターの運営業務体制の移行に伴う検討状況について

町政の簡素で効率的な事務事業体制の構築と併せて、高齢者福祉サービスの充実に向けた体制づくりを推進するため、高齢者生活福祉センター「くるみ園」の運営業務については、平成20年度から社会福祉法人南富良野町社会福祉協議会に業務委託することで現在検討を進めております。

また、現在建設中の金山地区特別養護老人ホーム内に設置されるデイサービス

センター及び現在の特別養護老人ホーム一味園に併設しているデイサービスセンターの運営業務体制は、平成20年度から町社会福祉協議会に移行することで現在検討を進めております。

これにより、平成20年度からのデイサービス事業は、幾寅・東鹿越・落合・北落合に在宅の方は、現在のデイサービスセンターを利用していただき、金山・下金山に在宅の方は、現在建設中の金山地区特別養護老人ホーム内に設置するデイサービスセンターを利用していただきます。

また、町社会福祉協議会に委託している生きがいデイサービス事業（遊々クラブ）についても、平成20年度から2箇所のデイサービスセンターを利用する計画で検討しており、これらの福祉サービス施設の管理運営の一元化により、効率的で効果的な福祉サービスの充実がさらに図られるものと考えております。



町社会福祉協議会への業務委託が検討されている高齢者生活福祉センター「くるみ園」

北落合地区の特定中山間保全整備事業の進捗状況について

特定中山間保全整備事業は、平成18年度に北海道開発局が基本計画を策定し、本年度から独立行政法人緑資源機構が事業主体となり、計画全体の施設設計作業が進められております。

現段階での事業規模は、水源林造成94ヘクタール、分収育林164ヘクタール、農地区画整理・暗渠排水・除礫などの農用地整備532ヘクタール、鳥獣害防止施設（防護柵）37キロメートル、農業用水施設22キロメートルで、総事業費は28億5千万円の見込みであります。

昨年の12月11日に北落合地区の農業生産者が主体となり、地元期成会が結成され、次いで本年の11月21日には、地元期成会や南富良野町及び町議会、農業委員会、JAふらの、町森林組合により事業推進協議会が設立されました。

今後は、測量設計作業を中心に事業計画の策定が進められ、明年3月までに事業計画を公表し、事業資格参加者の同意を得て、平成

で、各種在宅福祉サービスと連動した、総合的な在宅福祉サービスの推進体制が整い、今後益々多様化する在宅福祉サービスの推進が図られるものと考えております。

また、町社会福祉協議会に委託している生きがいデイサービス事業（遊々クラブ）についても、平成20年度から2箇所のデイサービスセンターを利用する計画で検討しており、これらの福祉サービス施設の管理運営の一元化により、効率的で効果的な福祉サービスの充実がさらに図られるものと考えております。

後期高齢者医療制度について

国の医療保険制度改革に基づき、75歳以上の高齢者が加入する後期高齢者医療保険制度は、平成20年4月から新たにスタートすることが既に決定され、現在、道内市町村で構成された北海道後期高齢者医療広域連合において、実施に向けた検討準備が着々と進められているところであり、

本町におきましても保険料徴収や申請等窓口業務の円滑な事務手続きを行うた

の試作を酒造メーカーに依頼していたところ、この度試作品が完成し12月10日に関係者を招いて下金山で試飲会が開催されました。

試作品は、通称「どぶろく」の懐かしい味の復活をイメージして造られ、酸味のある濃厚な味わいとなっており、名称は、白金山（はくきんざん）と名づけられ、試作品500ミリリットル瓶容器で約300本を町内限定で販売する計画になっているとのことであり、

今後は、この限定販売のモニターの結果を踏まえ、来春頃には本格的な販売をする計画になっているとのことであり、この「産消協働」による地酒が本町特産品として町内外に広く親しまれるよう大きな期待を寄せているところであり、今後はこの取り組みの推移を見ながら、消費拡大に向けた支援策を検討してまいりたいと考えております。

消防団の組織再編等について

本町の消防団は、本年4月1日から東鹿越地区（第3分団）と幾寅地区（第1分団）を統合して、これまでの5分団を4分団編成に

め、所要の準備を進めているところであり、今般、広域連合から加入者が負担する保険料の算定見込額が示され、本町の平均的保険料の見込額は、一人当たり年額6万5,403円となり、全道平均の年額8万6,464円を大きく下回る算定見込額が示されたところであり、

この保険料は、加入者が定額で負担する、均等割額と加入者の収入所得に応じた「所得割額」を合わせた額とされ、原則として加入者の年金から自動的に差引かれ納入する仕組みとなっており、一定水準以下の所得者に対しては保険料負担の軽減措置がなされることになっております。

制度の詳細については、現在も医療広域連合で検討中であり、今後は決定された内容等について、適宜、報告させていただきます。加入予定者に対する後期高齢者医療制度の周知徹底に努めてまいります。

灯油価格の高騰に伴う高齢者等の低所得者に対する経済的緊急支援対策の実施について

組織再編され、それぞれの地域で日々訓練に励まれ、消防活動等に取り組み、住民の安心・安全確保に多大なる貢献をいただいているところであり、先に開催された第2回富良野地区消防組合議会定例会におきまして、分団の統合、地域の人口減少や高齢化等の実状を鑑み、消防団員の定数見直しが必要とされ、改正前の定数86名から現在の団員数に見合った定数70名に改正されました。

消防団は、地域密着性や即時対応力において優れた組織であり、緊急災害時等の不測の事態における住民の安全確保の上で必要不可欠な組織であることから、今後も引き続き活動の安定継続のため消防団員定数の維持確保等について配慮してまいります。

また、件数の増加とともに高度化する救急業務に対応するため、消防支署職員体制の強化を図る必要があり、限られた消防職員数の中で体制を整えていかざるを得ないことから、金山分遣所については、平成20年4月から非常勤化職員の配置又は業務委託のいずれか